

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 4年3月18日

計画の名称	木更津市における下水道整備による良好な環境の実現									
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)	交付対象	木更津市							
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を51% (H28) から56% (R2) に増加させる。 ④木更津下水処理場の分流汚水主ポンプ能力を現有40m3/minから70m3/minに増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
			当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。				
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	総人口固定：住民基本台帳人口 133,049人 (平成27年4月1日現在)			51%	54%	56%				
④木更津下水処理場の分流汚水主ポンプ能力 揚水能力 (m3/min) / 全体計画の揚水能力 (100m3/min)				40%	40%	70%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	713百万円	A	713百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
木更津市下水道事業の社会資本整備総合交付金評価実施要綱により実施	令和4年3月
	公表の方法
	木更津市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 種別施設	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H28	H29	H30	H31	H32		
No. 1木更津処理区																	
A1-1-2	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	清見台1号幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 A=37.9ha	木更津市						319	
A1-1-4	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	貝渕幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 A=11.2ha	木更津市						0	
A1-1-5	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	鳥田1号幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 A= 8.0ha	木更津市						0	
A1-1-6	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	岩根4号幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 A=19.1ha	木更津市						106	
A1-1-7	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	金田1号幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 A=8.2ha	木更津市						47	
A1-1-8	下水道	一般	木更津市	直接	—	汚水	新設	金田西特定土地区画整理事業面整備 (未普及解消)	A=41.3ha	木更津市						229	
A1-1-9	下水道	一般	木更津市	直接	—	処理場	増設	木更津下水処理場主ポンプ増設 (未普及解消)	P×1台 (30m3/min)	木更津市						12	
											合計					713	
B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)						
											H28	H29	H30	H31	H32		
											合計						

C 効果促進事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
									H28			H29	H30	H31	H32
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・下水道処理人口普及率が平成28年度当初実績値51%から令和2年度末実績値56%に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。

II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道処理人口普及率)	最終目標値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	差異なし
		最終実績値	56%		
	指標④(木更津下水処理場の分流汚水主ポンプ能力)	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	差異なし
		最終実績値	70%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・今後も木更津処理区の未普及解消及び普及率の向上に努めます。
- ・下水道施設の汚水処理機能向上に努めます。

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 木更津市における下水道整備による良好な環境の実現		交付対象	木更津市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)			

